

令和4年度

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）デザイン学専攻

外国人留学生特別入試

入学者選抜学力検査問題

専門科目（特定課題型）

（150分）

〔注意事項〕

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は2枚からなっています。また、解答用紙は問題文中に指示されている解答用紙を使いなさい。この冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば、手をあげて監督者に知らせなさい。
3. 使用するすべての解答用紙に受験番号を記入しなさい。
4. 試験後に、問題用紙、解答用紙、下書用紙など配布物は回収します。

問題

あなたが幼かった頃によく遊んだ玩具をひとつ取り上げ、その概要と楽しかった点などを説明しなさい。そして、その玩具を今の時代の子供たち、あるいはあなたの子供に与えるために、現代に合ったものに改良した玩具としてデザインしなさい。情緒的、教育的な特性を十分に考慮すること。

B3 解答用紙1枚にもとの玩具の説明と新しい玩具のコンセプトや詳しい内容を記載すること。もう1枚のB3 解答用紙にデザイン案を描きなさい。

解答は、以下の<条件>に従い行うこと。

<条件>

1. B3 解答用紙には、下書き用紙 (A3) に作成した文章、スケッチ、図面、図解などを貼り込んでもよい。
2. B3 解答用紙は、縦、横どちらで使用してもよい。
3. B3 解答用紙は、受験番号欄が印刷されている方を裏面として使用しなさい。
4. 以下の貸与画材は、必ずしも全て使用する必要はない。

貸与画材

- ・ 黒サインペン中太字 (Felt-tip Pen)
- ・ 黒サインペン細字 (Felt-tip Pen)
- ・ 色鉛筆
- ・ 小型鉛筆削り
- ・ スティックのり
- ・ ハサミ

(以上)

令和4年度

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）デザイン学専攻

外国人留学生特別入試

入学者選抜学力検査問題

専門科目（論文型）

（150分）

【注意事項】

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 次頁以降の選択問題1～4の中から1つの問題を選択し、解答しなさい。
3. 各選択問題の配点は同じです。
4. この問題冊子は3枚からなっています。また、解答用紙は4枚（けい線入り2枚、けい線なし2枚）、下書用紙は2枚あります。監督者から解答開始の合図があったら、この冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば、手をあげて監督者に知らせなさい。
5. けい線入り解答用紙と、けい線なしの解答用紙のどちらを使ってもかまいません。使用する解答用紙に受験番号を記入しなさい。
6. 選択した問題番号を、解答用紙解答欄上部左側に記入してから解答しなさい。
7. 試験後に、問題用紙、解答用紙、下書用紙など配布物は回収します。

選択問題 1 (デザイン分野)

従来のデザインは、グラフィックデザイン、プロダクトデザイン、プレイスデザイン、インテリアデザイン、ファッションデザインなどのカテゴリで分類されてきたが、近年では従来の枠組みにとられない「〇〇〇デザイン」と呼ばれる新しい概念が登場してきている。

問 1. 〇〇〇に当てはまる言葉を 3 つ考え、それぞれについてどのようなデザインかを詳しく説明した上で、それぞれが台頭してきた理由について、時代背景を含めながらあなたの考えを述べなさい。(〇〇〇の字数は問わない)

問 2. 現時点ではまだ現れていない〇〇〇を考え、将来必要と思われる「〇〇〇デザイン」を想像し、その理由とともに説明しなさい。また、新たな「〇〇〇デザイン」があなたの現在の専門分野にどのような影響を及ぼし、どのような関わりを持ち得るのかについてあなたの考えを述べなさい。

※ 記述に際して、図や表などを併用しても構わない

選択問題 2 (ビジネス課題)

近年、私たちはデジタル社会に移行しつつあり、ほとんどの IT 企業は、知識や資産をデジタルに変換している。これを踏まえて、「デジタルトランスフォーメーション」の企業経営におけるメリットとデメリットを、1) 運用面での効率性、2) イノベーション面での有効性の観点から説明しなさい。その上で「デジタルトランスフォーメーション」の社会的レベルでのメリットとデメリットを述べなさい。

選択問題 3 (キュレーション分野)

芸術はさまざまな感性的な特質（例えば、「美」、「醜」、「侘び」、「雅び」など）を有している。それらのなかから、あなたにとってもっとも興味深いものを 1 つ選び、以下の問いに答えなさい。

※ ここでいう「芸術」は、あらゆる時代、地域、ジャンルのものを含む

問 1. あなたが選んだ特質の名称と、それと対^{つひ}になる特質の名称とを記しなさい。

問 2. あなたが選んだ特質が、

- a) 芸術の実践においてどのように現れ、どのような効果をもつのか
 - b) 観者にどのように感受され、観者のうちになにを引き起こすのか
- について、それぞれ具体例を挙げながら簡潔に説明しなさい。

※ a と b で挙げる具体例は、必ずしも同一でなくてよい

問3. あなたが選んだ特質と、そのほかの感性的な特質とが、互いにどのような位置関係にあるのかを、図表、ダイアグラム、チャートなどの一定の任意のヴィジュアル形式で示したうえで、文章で簡潔な説明を加えなさい。

※ そのほかの特質として取り上げるものの数は自由

選択問題4 (テクノロジー分野)

人の感覚を利用して対象物を評価する「官能評価」にはさまざまな方法がある。以下に示す目的で官能評価を行う場合の評価計画を示しなさい。計画には、以下の項目を含め、そのように項目を設定した理由を説明しなさい。項目の評価方法には、以下の方法(a~d)から一つを採用し、その方法を解説し、それを選んだ理由も示しなさい。

※ 解答に、図・イラスト・グラフなどを含めてもよい

目的

高齢者向けのレトルト食品のパッケージデザインを10案作成した。デザインは、無彩色のみではなく、有彩色を含むデザインである。高齢者が使用することを想定し、最もふさわしいパッケージデザインを10案から選ぶ。

項目

(1) 被験者 (パネル) (2) 評価環境 (3) 評価項目 (4) 評価方法

方法

(a) 一対比較法 (b) 順位法 (c) SD (semantic differential) 法 (d) ME (magnitude estimation) 法

(以上)